

医療安全トピックス TOPICS

Vol.85

井上 純子

公益財団法人日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部 医療安全課 課長

医療安全情報 No.130「中心静脈ラインの開放による 空気塞栓症」について

公益財団法人日本医療機能評価機構では、医療事故情報収集等事業（以下：本事業）を行っています。本事業では、過去に取り上げた共有すべき事例や分析テーマの中から、特に周知すべき情報について、医療事故の発生予防・再発防止を促進することを目的に、医療安全情報として提供しています。医療安全情報はホームページに公表するとともに、全国の約6000医療機関にFAX配信を行っています。

本稿では、2017年9月に提供した医療安全情報 No.130（資料1）について紹介させていただきます。

【資料1】医療安全情報 No.130

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.130 2017年9月

公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療安全情報

中心静脈ラインの開放による空気塞栓症

No.130 2017年9月

大気に開放される状態で中心静脈ラインの接続を外したことで、血管内に空気が流入した事例が7件報告されています（集計期間：2013年1月1日～2017年7月31日）。この情報は、第43回報告書「個別のテーマの検討状況」（P133）で取り上げた内容をもとに作成しました。

大気に開放される状態で中心静脈ラインの接続を外したことで、血管内に空気が流入し、患者に影響があった事例が報告されています。

本来外す部位 **事例1のイメージ**

閉鎖式の
コネクタ

| 接続を外した目的 | 件数 |
|------------|----|
| 更衣 | 2 |
| ヘパリンロック | 2 |
| 輸液ラインの取り外し | 2 |
| 採血 | 1 |

◆報告された7件の事例のうち6件は、患者が座位の状態での中心静脈ラインの接続を外した事例です。

●医療安全情報 No.130「中心静脈ラインの開放による空気塞栓症」について

医療安全情報 No.130は、大気に開放される状態で中心静脈ラインの接続を外したことにより、血管内に空気が流入し、空気塞栓症を起こした事例を取り上げました。2013年1月～2017年7月に7件の事例が報告されています。

医療安全情報内に、接続を外した目的を図示しています。目的は「更衣」「ヘパリンロック」「輸液ラインの取り外し」などであり、さまざまな場面で中心静脈ラインの接続を外していることがわかります。

●掲載事例の紹介

医療安全情報 No.130 に掲載した事例の1つを紹介します（資料2）。看護師が中心静脈ラインの接続を外そうとしたところ、本来外すべき接続部が外れず、別の場所を外したために空気が流入したという事例です。事前に中心静脈カテーテルのスラ

医療安全情報 No.130 2017年9月

中心静脈ラインの開放による空気塞栓症

事例1

看護師は患者が座位の状態で大気を閉鎖した。その後、閉鎖式のコネクタと輸液ラインの接続を外れなかったため、中心静脈カテーテルのクラップを閉じないまま閉鎖式のコネクタを外した。中心静脈カテーテルが大気に開放され、空気が流入し、空気塞栓による脳梗塞を起こした。

事例2

看護師は中心静脈カテーテルのヘパリンロックを実施する際、中心静脈カテーテルに閉鎖式のコネクタが付いていると思い込み輸液ラインを外したところ、実際には閉鎖式のコネクタが付いておらず、中心静脈カテーテルが大気に開放された。患者は顔面蒼白となり、ベッド上へ倒れた。頭部CTを撮影したところ、空気塞栓が疑われた。

事例が発生した医療機関の取り組み

- 閉鎖式のコネクタを使用しない場合、中心静脈カテーテルのクラップを閉じないまま接続を外すと、大気に開放され血管内に空気が流入する危険性があることを院内で周知する。
- 中心静脈ラインの接続を外す際、閉鎖式のコネクタが付いていることやクラップが閉じていることにより患者側のラインが閉鎖されているか確認する。

◆この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業（厚生労働省補助事業）において収集された事例を元に、本事業の一環として我が国医療界の共有のために提供（医療事故の発生予防・再発防止のために実施された）ものです。本事業の運営等が目的については、本事業ホームページに掲載されています。報告書および年報をご覧ください。
<http://www.med-safe.jp/>

◆この情報は、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容をそのままに引用するものではありません。

◆この情報は、医療従事者の見直しを促したほか、医療従事者に教育や責任を課したものではありません。

公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-0061 東京都千代田区三田1-4-17 南TEC
電話：03-6217-0255(直通) FAX：03-6217-0253(直通)
<http://www.med-safe.jp/>